

新規事業採択時評価結果(平成18年度新規事業化箇所)

事業の概要

事業名	環状第5の1号線 新宿御苑	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自：東京都渋谷区千駄ヶ谷六丁目 至：東京都新宿区内藤町	延長	0.3km		
事業概要	本事業は、渋谷区広尾五丁目を起点として、北区滝野川二丁目に至る全長14kmの環状第5の1号線のうち、渋谷区千駄ヶ谷五丁目から新宿区内藤町までの延長0.33kmについて、新設道路(内回り線は地表式、外回り線は地下式)を整備するものである。				
事業の目的、必要性	本地区は、渋谷・新宿・池袋という3つの副都心をつ結び、都市の骨格を形成する重要な環状方向の幹線道路である環状第5の1号線の一部である。本地区整備により明治通りの交通渋滞緩和と新宿駅南口基盤整備事業の進展による新たな交通需要にも対応する。				
全体事業費	52 億円	計画交通量	18,100 台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
 明治通りと甲州街道が交差する新宿四丁目交差点は、交通混雑が常時発生しており、今後もさらに増大することが懸念される。当該地域の明治通りへ流入する通過交通の負荷を軽減させる方策として、本路線の早期整備がまちづくり、特に道路交通上きわめて重要な緊急の課題である。

事業採択の前提条件
 ・便益が費用を上回っている。
 ・円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

担当課：
 担当課長名：

費用対便益	B/C	2.86	総費用 54 億円 事業費：52 億円 維持管理費：2 億円	総便益 129 億円 走行時間短縮便益：122 億円 走行費用減少便益：5 億円 交通事故減少便益：2 億円	基準年 平成16年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業費変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業期間変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】		
		事故対策		【死傷事故率】 (死傷事故率比(県内平均比)) (事故率曲線における位置:) 【その他の特徴】		
	社会全体への影響	歩行空間				
		住民生活				
		地域経済				
		災害				
環境						
地域社会						
事業実施環境						

採択の理由